



CASE 5
受け止める

天職の芽は嫌な仕事の中にあつた！

嫌だ嫌だと断ってばかりでは、自分の可能性を閉ざしてしまう。挑戦してみると意外なチャンスに出会えるかもしれない。

編集プロダクションを経営する倉林秀光さんは、現在の職業に就くまで、実に34回の転職を経験している。次々と職を変えることになつたのは自己実現を求めていたからでもあるが、もう一つ大きな原因があつた。私生活における度重なるショックによつて、体に変調を来したからである。パニック障害に陥つた倉林さんは、当時はまだ認知されていなかった症状のため、職場でいじめられることもあつた。精神安定剤は飲んでいたが、症状を抑えることに必死で、仕事でのミスも頻発した。退職を余儀なくされたことが幾度もあつたのだ。

病状と闘いながらも、自己実現するために、憧れの職業に就いたこともあつた。

「デザイナーになるのが夢だったんです。でも実際にデザイン事務

断っていたら、未来は違っていた！

転職34回！



業界紙出版社に編集として入社



印刷会社、教材販売、広告代理店、建設会社、デザイン事務所、造園会社…etc.

YESと言って
いい加減な仕事をする方が
断るよりも
はるかに信用を失う



倉林秀光氏
おふいすラポート社長

1957年生まれ。東海大学卒業後、自己実現を求めて転職を繰り返す。29歳の時にサラリーマン生活を達観し、業界紙出版社を経て独立。編集プロダクションおふいすラポートを設立。